

中国医学と道教（Ⅵ 医神）

吉元昭治

中国人社会の基層的レベルでの宗教、信仰——民間信仰——は、さきよりのべているように、道教の要素を主とし、これに仏教や儒教を加えた三教が習合し、さらにこれに最近では回教、キリスト教までが加わった複雑な様相を呈していることをのべてきた。また、中国医学と道教は密接な関係にあり、道教医学という分野の確立を認めるべきと主張し、さらにこの道教医学が現在では、道教が民間信仰のなかに埋没しているように、民間医療として、多くの面にのこっていることをのべてきた。

今回は、台湾を中心として、寺廟にみられる、いわゆる「医神」または「医薬神」について考察してみたい。

一、寺廟の神々。観察を便ならしめるため、台北市の次の三つの寺廟をえらんだ。

① 龍山寺（仏教）主祀、観音菩薩

ここに、註生娘娘、地頭夫人、十二婆姐をみる。

② 保安宮（道教）主祀、保生大帝

ここに保生大帝、註生娘娘、神農大帝（金母娘娘）などがみられる。

③ 天后宮（道教）主祀、天上聖母（媽祖）

ここに註生娘娘をみる。

二、職業別に信仰される神々

① 医師は保生大帝、華陀仙師をまつる。

② 薬剤師、薬種商は神農大帝をまつる。

これに対して、黄帝は裁縫師の神となっている。

三、医神または医薬神

これにふくまれる神々は、その数も多く、さらにはっきりした区分をえられないが、中国の神話伝説、中国医学史上著名な医師、および、南中国ことに福建、広東省地方から台湾に渡来した地方的信仰の神々などがある。

① 薬皇、先医：伏羲、神農、黄帝（三皇）

② 医王：孫思邈、葛洪、扁鵲

③ 薬王：韋慈蔵、十大薬王もある。

④ 保生大帝（呉真人、大道公、慈濟靈宮、大道真人、万寿

無極保生大帝)

⑤ 神農大帝 (光農、五穀仙帝、藥王大帝、五穀王、粟母王、開天炎帝)

⑥ 天医：天医真人 (天医星)

⑦ 鍼神：少俞

⑧ 百草翁：韓康

⑨ 藥師仏 (藥師如来、東方淨瑠璃世留救主、藥師瑠璃如来)

⑩ 瘟神 (瘟王、王翁、千歲翁、府千歲、老翁)。いわゆる厄病神である。

四、女神 (娘娘、奶奶、娘奶)

女神が、妊娠、分娩、産育、その他に關係する部分が多い。歴史的には、秦山 (東嶽) と關係する碧霞元后 (娘娘) があり、旧満洲の娘娘廟、北宋の蟠桃宮などが名高く、南中国の海洋神とも考えられる天后聖母 (媽祖、天后、天祀) と対している。娘娘と名付けられる女神は数多く、各自職能を有している。その名称を列記すると、子孫娘娘、送生娘娘、催生娘娘、斑疹娘娘、眼光娘娘などがあり、また臨水夫人、地頭夫人も重要な女神である。

五、中国本土の藥王廟

歴史的史蹟であるが、陝西省藥王山藥王廟 (孫思邈)、河南省濟源縣藥王墓 (同上)、江西省南城縣藥王廟 (葛洪) などがあり、扁鵲を祀り藥王廟とするものもある。

六、新興宗教の二、三

さきにあげた女神の臨水夫人 (陳靖姑) を主神とする三奶派。瑤地金母 (王母娘娘、西王母) を主神とする無生老母信仰は現在、新興宗教として力があり、民間医療と接觸する面を有している。

(小平市・開業)